

全町一斉の避難訓練は

10月以降を考えている



柏倉恵里子議員



避難訓練（国縫地区）

柏倉 この質問は昨年9月にも行ったが、町長の答弁は、次年度に向け開催できるような一生懸命精進したい、との事だった。28年度開催できるのか、途中経過も含め伺う。

町長 本町の避難訓練は、従来より町内会単位を基本に実施してきたが、昨年9月に答弁したとおり、全町一斉の避難訓練の必要性も感じていることから、平成28年度中の実施を検討している。

柏倉 高砂地区の避難訓練はどのような形で行うのか。

町長 昨年実施した、南栄・新開の訓練では、指定した避難場所に避難していただいた。高砂地区の町内会等を含めて協議し、実施日を決める。

実施時期については、7月に参議院議員通常選挙が予定されることから、準備期間等を考慮すると10月以降となり、実施にあたっては、先進自治体の情報を収集するとともに、関係機関の協力をいただきながら進めたい。

また、平成28年度は、一部が土砂災害警戒区域等に指定された高砂地区の避難訓練を実施するなど、様々な機会を通じ、町民の防災意識の高揚を図っていく。

柏倉 町長が考える全町一斉の避難訓練の形は。例えば企業や商店、スーパーなどにも協力をいただかなければいけないと思う。また案内が聞こえないという事例もたくさんあったが。

町長 津波のハザードマップが公表されてからすでに3年経過し、できるだけ、指定された浸水区域を重点的に一斉避難訓練地域としたい。

また、協定を結んでいる各事業者、自衛隊、警察、消防、これらも投入して実践的な避難訓練をやりたい。かなり大規模な訓練になると考える。

そのため、検討会を立ち上げて各企業にも協力を要請する。かなり時間を要するので、協力して頂く団体等にもご理解を求めなければいけない。

10月頃は秋の災害多発時期であるので、事前に消防の吹鳴装置や町の広

報車、チラシや町広報で知らせて実施をしたい。全町民あげて実践さながらの協力をしていただきたい。参加者がいないればやっても意味がないので、みなさんに参加していただけるよう協力を求める。

**4人の議員より一般質問が行われました。
その内容を要約してお知らせします。**

※全文は町ホームページからご覧になれます。

町ホームページトップ → 町議会 → 会議録

空家対策と移住定住に関わる政策を問う

詳細を調査して課題を整理し 今後の空家対策を推進する

柏倉 昨年6月に一般

質問したばかりだが、年度の変わり目でもあり、新年度の計画に盛り込まれていなければ、実現の可能性も無くなると思う。まず条例改正から進めたいとの答弁だったが、取り組み状況は。

次に、移住定住の促進や、地域おこし協力隊も新たに決まるようだし、これから雇用の増も見込まれ、長万部町に住んでいただくためにも空家の活用が望ましいと考える。各町内会でも空家で困っているようなので、思い切った施策が必要と思う。町長の所信を伺う。

町長 空家対策の取組状況は、市町村での努力義務として、空家等のデ

ータベース整備が特別措置法で定められており、

環境衛生推進員の協力のもと簡易的な空家把握調査を行っている。

新年度では、これらの情報を基に、詳細調査及び地理的情報システム等を活用したデータベースを構築して本町の課題を整理し、今後の空家対策を推進していく。

なお、現在は町条例と法律の矛盾、抵触が無いため条例改正は行っていないが、今後必要に応じ関係規則や要綱の制定も含め検討する。

空家の活用については、人口減に伴う空家が年々増加しており、空家対策と併せて移住者促進等対策として取り組む必要が

あると考える。

おしゃまんべ家さがしウェブへの登録勸奨や、平成28年度から北海道で運用開始となる「北海道空家情報バンク」と連携し、民間借家事業者との調整を図りながら、空家情報の発信協力を推進していく。

柏倉 簡易的な空家把握調査とは

町民課長 44名の環境衛生推進員で調査しており、現在報告があるのは約400件で、各地区の1割強が空家である。

柏倉 新年度の詳細調査とは。

町民課長 建物の状況、所有者、危険度をABCでランク付けする。

柏倉 所有者は立ち会

いするのか。

町民課長 立ち会いは行わない。

家屋状況の写真を撮り、データベースに入力して一元管理できるよう考えている。

柏倉 あくまでも外見だけの調査という事か。

町民課長 今回は初回の調査であり、とりあえず外見の調査のみでABCランクを付ける

柏倉 借家にできるとかできないとか、する意思があるとかないとか、そういう事は全く関係ない調査か。

町民課長 関係ない。

柏倉 現在、長万部町に特定空屋となる建物はあるか。

町民課長 それを把握するため今回調査を行う。

柏倉 民間事業者との調整を図るとは、町内の業者か。

町長 その通りである。

柏倉 地域おこし協力

隊員の家は町が探してあげるのか。

町長 長万部の住まい情報を隊員に提供し、担当課が協力する。例えば希望する住居が民間の借家であれば、そのように対応する。

柏倉 これから新幹線の開業も見据えた人口増を図るためには、移住者を募っていかねければならない。その時に家を探すのにどうやって探すのか。

町長 空家対策というのは、倒壊した家屋をどうするかと言うのが一番肝心な要素だ。そして1軒1軒の空家には所有者がおり、個人の財産である。それらを活用するには、積極的に家さがしウェブに登録して貰う事だと思っている。